

## 28年8月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成28年8月1日～ 28年8月10日

## 2. 調査実施方法

全国の合板工場-1に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
8月分の回答企業数は7社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

$Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = \{ (「増加」の評価を行った回答の割合) \times 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) \times 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) \} \div 2$   
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) 国産原木入荷動向 Weight. D. I.

品目		28/8月	9月	10月
入荷動向	スギ	16.7	20.0	40.0
	ヒノキ	△ 25.0	0.0	25.0
	カラマツ	0.0	20.0	40.0
	トドマツ	33.3	0.0	0.0
消費動向	スギ	△ 50.0	40.0	20.0
	ヒノキ	△ 25.0	25.0	0.0
	カラマツ	△ 20.0	20.0	20.0
	トドマツ	33.3	33.3	33.3
在庫動向	スギ	0.0	△ 20.0	20.0
	ヒノキ	△ 25.0	△ 25.0	25.0
	カラマツ	0.0	0.0	0.0
	トドマツ	△ 33.3	△ 33.3	△ 33.3

・合板原木の入荷は8月にヒノキが減少するが、概して増加、ないし横ばい。

・合板原木の消費は総じて、8月の減少が、9月、10月は増加。

・合板原木の在庫はスギは8月の横ばいが、9月は減少、10月は増加。ヒノキは8月、9月の減少が、9月は増加。トドマツは3ヵ月連続して横ばい。カラマツは3ヵ月連続して減少。

## (2) 合板用原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	28/8月	9月	10月
スギ	0.0	0.0	0.0
ヒノキ	0.0	0.0	0.0
カラマツ	0.0	0.0	0.0
米マツ	△ 25.0	0.0	0.0
北洋カラマツ	△ 33.3	△ 33.3	0.0
その他	0.0	0.0	0.0

・スギ、ヒノキ及びカラマツの合板原木の購入価格は3ヵ月連続して横ばい。

・米マツは8月の弱含みの後、9月、10月は横ばい。北洋カラマツは8月、9月の弱含みが、10月は横ばい。その他は3ヵ月連続して横ばい。

## モニターからのコメント

## (原木荷動き)

・国産材丸太は安定的に入荷する予定。8月はお盆で若干消費量が減少すると思われるが、9月以降は元に戻る予定。トドマツの消費量が増える見通し。スギ在庫はトドマツ消費量の増で減少する見通し。スギ、カラマツは消費分を入荷する予定で、在庫は横ばい。  
・安定的に入荷。消費は横ばい。スギの在庫が増加傾向。  
・今、時期の原木は虫材等、質が悪いので入荷を制限。8月はお盆で消費は落ちる。9月以降は増えてくる。在庫は減らし10月以降増やす。  
・スギは安定入荷。カラマツは他メーカーとの競争により先行して入荷。消費は盆休みで先月より減る。在庫は生産に合わせて入荷するので横ばい。  
・順調な入荷（山側は旺盛だが）、必要分の入荷。  
・カラマツのみ入荷、消費を増量、在庫は全体的にオーバー。

## (原木価格)

・外材は円高の進行で仕入れ価格が下がっている。カラマツは東北でも荷余り感が出始め、価格は軟化傾向。  
・変化なし。  
・購入価格は横ばいで、状況次第では値上げも検討。  
・スギ横ばい。カラマツ高値安定。  
・合板用原木については変動なし。  
・変化なし。

## 28年8月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

## 4. 調査結果の概要

## (1) 生産動向 Weight. D. I.

品目		28/8月	9月	10月
生産動向	構造用(9mm)	△ 50.0	20.0	20.0
	〃 (12mm)	△ 28.6	33.3	16.7
	〃 (15mm)	△ 28.6	16.7	0.0
	〃 (24mm)	△ 28.6	16.7	16.7
	〃 (28mm)	△ 28.6	16.7	16.7
出荷動向	構造用(9mm)	△ 16.7	20.0	20.0
	〃 (12mm)	14.3	50.0	33.3
	〃 (15mm)	△ 14.3	0.0	0.0
	〃 (24mm)	14.3	50.0	33.3
	〃 (28mm)	△ 14.3	33.3	33.3
在庫動向	構造用(9mm)	△ 16.7	△ 40.0	△ 20.0
	〃 (12mm)	△ 28.6	△ 50.0	△ 50.0
	〃 (15mm)	△ 28.6	△ 50.0	△ 33.3
	〃 (24mm)	△ 28.6	△ 50.0	△ 50.0
	〃 (28mm)	△ 28.6	△ 50.0	△ 50.0

- ・合板の生産は全品目で8月の減少が、9月、10月はほとんどの品目で増加。
- ・合板の出荷は9mm、28mmは8月の減少が、9月、10月は増加に、12mm、24mmは3ヵ月連続して増加。15mmは8月の減少が、9月、10月は横ばいに。
- ・合板の在庫は全品目で3ヵ月連続して減少。

## (2) 構造用合板出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	28/8月	9月	10月
構造用(9mm)	50.0	20.0	20.0
〃 (12mm)	42.9	33.3	16.7
〃 (15mm)	42.9	16.7	16.7
〃 (24mm)	42.9	33.3	16.7
〃 (28mm)	42.9	16.7	16.7

- ・合板の出荷価格は、全品目で強含みで推移。

## モニターからのコメント

## (合板荷動き)

- ・12mmとネダノンの在庫不足感がまだ続くと考える。
- ・7月同様の生産計画、フル生産中。生産計画以上の需要あり。在庫は全品目で減少。
- ・フル生産をしているが、盆休みで稼働日数が減少し、生産量も減少。梅雨明け以降発注量が増えており供給が追い付かない状況、特に12mmの発注が多い。生産した分が出荷となる。在庫は徐々に減っており増える状況にない。
- ・盆休みで全品目で生産減。構造用は生産したものは出荷。在庫はほぼ横ばい。
- ・今月(8月)稼働日少なく生産減、来月以降フル生産へ。引合い多く受注増、これから更に出荷は増加。在庫は減少へ、生産増でも出荷が更に増加。
- ・少量生産につき変化なし。

## (合板価格)

- ・在庫不足による価格の上昇が、多少なりとある。
- ・多少の変動はあるもののほぼ横ばい。
- ・本州との価格差も徐々に広がり、翌月から出荷価格を調整。
- ・先月より、若干値上げになっている。
- ・引合い強く上昇傾向。
- ・変化なし。